

News Release

日本をおいしくする

SHOWA

昭和産業株式会社

経営企画部広報課

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号
(鎌倉河岸ビル)

TEL. 03(3257)2042 FAX. 03(3257)2097

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

平成22年8月3日

昭和産業株式会社 平成23年3月期第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：横澤正克）の平成23年3月期第1四半期連結決算は、売上高538億12百万円、経常利益23億62百万円となりました。平成23年3月期通期連結業績予想については、平成22年5月14日に公表した業績予想からの変更はなく、売上高2,170億円、経常利益84億円を見込んでおります。

【平成23年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結会計期間の我が国経済は、世界的な景気後退からは徐々に立ち直りつつあるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。食品業界におきましても、消費低迷により競争は激化しており、厳しい環境が続いております。

原料穀物相場につきましては、前年同期と比較して下落傾向にあり、また、4月より輸入小麦の政府売渡価格が引き下げられたことから、販売価格についても前年同期と比較して下落傾向にありました。

このような状況の中、当グループは、2009年（平成21年）よりスタートした「中期経営計画09-11」の5つの基本戦略「①財務体質の強化」「②成長分野への注力」「③基盤事業の再成長」「④グループシナジーの追求」「⑤CSR経営の推進」の下、具体的な施策の推進に努めてまいりました。

これらの結果、内食回帰のトレンドにより家庭用プレミックスの販売が好調に推移したことや、昨年11月に奥本製粉株が連結子会社に加わったことにより販売数量は前年同期を上回りましたが、穀物相場が前年同期に比べて低位に推移した影響により販売価格が前年同期を下回った結果、連結売上高は53,812百万円と前年同期に比べ450百万円（0.8%）の減収となりました。利益面では生産・販売効率の改善による全社的なコスト削減に努めましたが、穀物相場の影響により販売価格が前年同期を下回ったことなどにより、営業利益は2,207百万円と前年同期に比べ1,318百万円（37.4%）の減益、経常利益も2,362百万円と前年同期に比べ1,009百万円（29.9%）の減益となりました。また、四半期純利益も特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を計上したことなどにより865百万円と前年同期に比べ1,182百万円（57.7%）の減益となりました。

【平成23年3月期連結業績予想】

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成22年5月14日に公表した平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上

この件に関するお問合せ

昭和産業株式会社 経営企画部広報課（大内英幸）まで

TEL：03-3257-2042

FAX：03-3257-2097